

# 富士山は、世界環境の見張り役

江戸川大名誉教授・土器屋 由紀子

## <講義の内容>

本州のほぼ真ん中に、美しく屹立した孤立峰である富士山（3776m）は、日本で最も高い山です。周りに山がなく、上空の強い風（自由大気）の中にあるため、アジア大陸からの汚染物質が、最初にキャッチできる場所であることを意味し、事実、シベリアから飛んできた森林火災のススや、中国大陸からの黄砂などが観測されています。富士山の永久凍土の温暖化の研究も、進んでいます。無人化された富士山測候所を借り受けて、「富士山測候所を活用する会」を立ち上げた1人でもある講師が、観測を通じて得た貴重なデータに基づいて、「富士山の環境」について語ります。山頂で浴びる宇宙線、酸性雨、高山病などにも、話は及びます。



■ **日時** 2009年10/3、17、31  
全3回、土曜日、午後3時半～5時  
(1回のみ受講も可)

■ **受講料** 2,000円/各回(税込)  
工学院大学生：500円/各回(税込)

■ **場所** 工学院大学新宿キャンパス 中層棟4階  
(裏面地図を参照ください。学内では、赤エレベータ  
をご利用ください)

## <お問い合わせ & お申込み>

### 工学院大学エクステンションセンター

〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2

TEL:03-3340-1457(月～土9:00～19:00)

FAX:03-3342-3150

\*ファクシミリでお申込みの方は、  
講座名、お名前、ご住所、お電話番号をお知らせください。



## <講師紹介>土器屋 由紀子（どきや・ゆきこ）

1939年東京で生まれ、関西で育つ。東京大学農学部（農芸化学科）卒業後、同大助手。気象庁気象研究所、気象大学校教授。東京農工大農学部教授、江戸川大学社会学部教授を経て、2009年4月、同大名誉教授。「自分のサンプルは自分で採る」が信条で、高山や海洋など、人の行かないフィールドでの観測を中心に化学分析を続けた。いま、NPO法人「富士山測候所を活用する会」副理事長。

## <工学院大学新宿キャンパスへの案内図>



● JR、京王線、小田急線、東京メトロ丸ノ内線、都営新宿線「新宿駅」下車、西口から徒歩5分。地下道直結。

● 都営大江戸線「都庁前駅」下車、徒歩3分。

## <教室について：工学院大学構内のご案内>

教室および窓口は、「中層棟4階」です。赤色扉のエレベーターをご利用ください。（地下道ご利用の方は、構内床面の黄色矢印に沿ってお進みください。）

## <開講について>

- 講師の病気や、受講生が一定数に達しない場合などには、やむを得ず講座を延期または中止することがあります。
- 申込の際にご記入いただく個人情報、受講連絡や工学院大学、工学院大学・朝日カレッジからの各種お知らせの送付、および、企画の参考資料として使わせていただきます。